



SAIE かわら版

国籍を超え、相互理解を深め、「つながり・きずな」を大切に

SAIE主催
イベント

参加者募集！

JOCA 大阪講演会

アラブの世界遺産大国「ヨルダン・ハシミテ王国」とは？



周辺諸国が内戦や紛争、テロなど物騒な事件が頻発する中近東にあって、比較にならないほど安全で安定しているヨルダン。油が出ない中東の国であるため、主な収入源は観光業。古代から周辺の大国エジプト・バビロニア（現在のイラク）の侵攻を受けたり、古代ローマ帝国、オスマントルコなどの大帝国の支配下に置かれたりして苦勞してきたことは、旧約聖書などに記されています。そのため、国土は小さいですが、多くの世界遺産があります。そうしたヨルダンでの協力隊活動や生活体験についてのお話を聞いてみませんか？

日程：9月30日（火）午後1時半～3時

場所：コミュニティプラザ会議室1・2

講師：末岡直樹さん

（青年海外協力協会 JOCA 大阪）

定員：25名

参加費：無料

申込：協会まで電話・メールで受付



講師からのメッセージ

私は、首都アンマンから北に高速バスで1時間、西にイスラエル、北にシリア、それぞれの国境まで10数キロに位置する人口規模がヨルダン3番目の都市イルビッドにある国立大学の計算機センターでデータベース構築の支援活動をしていました。大学には、観光の源となる遺跡の発掘調査を指導する考古学隊員や、観光地にはつきものである写真に関する様々な技術（撮影・現像など）を指導する写真隊員などがいました。私自身どれだけ現地に貢献できたのか分かりませんが、様々なヨルダンの方々と交流できたことは今も楽しかった思い出になっています。ヨルダンの色々なことを皆様に知っていただけたら幸いです。

※ JOCA 大阪（青年海外協力協会）は、JICA 海外協力隊員として途上国でボランティア活動をしてきた人たちが作った組織です。



世界遺産 ワディ・ラム砂漠

SAIE主催
イベント

参加者募集！

ー日本語学習者による発表ー Hola! メキシコの文化に触れよう



日本ではあまり知られていないメキシコの歴史・文化・言語について、わかりやすくご紹介します。歴史のパートでは、マヤやアステカなどの古代文明、スペインによる植民地時代、独立後の変遷、そして現代メキシコが直面する社会課題について触れます。文化のパートでは、伝統的な祭りや音楽、メキシコ料理など、豊かな文化を紹介します。言語のパートでは、現在も話されている先住民の言語や、その背景についてお話しします。メキシコに興味がある方も、これから知りたい方も、ぜひお気軽にご参加ください！



発表者からのメッセージ

こんにちは！ファビアンと申します。メキシコ出身で、現在は日本に住みながら、政治学の博士課程を修めています。自然の中を歩いたり、ハイキングをするのが大好きです。異文化にふれること、特にその言語を学ぶのが大きな趣味になっていて、ロシア語、ナワトル語、フランス語、ポーランド語、そして日本語を勉強しています。動物も好きですし、本を読みながら音楽を聴くのも楽しみのひとつです。そして、友達との長くて深い会話も、私にとってとても大切な時間です。

日程：10月30日（木）午後1時半～3時

場所：コミュニティプラザ会議室1・2

発表者：ファビアン・カルデロン・ヘルナンデスさん
（立命館大学大学院留学生、せっつ日本語あじふ学習者）

定員：25名

参加費：無料

申込：協会まで電話・メールで受付



イベント報告

2025年度 社会見学

グリコピア工場見学と立杭焼絵付け体験

開催日：5月28日(水) 午前8時15分出発、午後5時50分帰着

参加者：33名(うち外国人7名：中国、タイ、アメリカ)

今年の社会見学は、みんなが大好きなポッキーなどを作っているグリコのお菓子工場へ見学に行ってきました。箱詰めされる工程の無駄のない動きは見とれてしまうほどでした。また、デジタルクッキングではそれぞれ好きな色やモチーフ、トッピングを選び、デジタル画面に描いてのお菓子作りをしました。陶の郷(すえのさと)では、丹波篠山の味覚・牛すき御膳をいただき、丹波焼の小皿に呉須で絵付けをしました。思い思いに描かれた作品は個性豊かで素敵でした。その後、鳳鳴酒造「ほろ酔い城下蔵」での酒造見学や黒豆の館でのショッピングを楽しみました。

参加者の感想【グリコピア】

- 良かった。殆ど無人の作業に驚いた。
- 昔から馴染んでいるグリコがとても懐かしく楽しかった。あっという間の一時間でした。
- 歴代のおまけとCMタレントの写真が見られて面白かった。
- チョコレートの温度コントロールが大変と思った。
- 自分で作ったお菓子(ビスコ)の作品づくり楽しかったです。

【立杭焼絵付け体験】

- めったに体験できないことができた良かった。
- 出来上がりがどうなのか、今から楽しみ。
- 図工が下手で苦心しましたが、出来上がるのが楽しみです。
- 立杭焼の登り窯をみたこと、世界遺産の印象が強く残りました。
- 中国からの参加者たちと楽しく絵付けができて、よい国際交流ができました。
- 展示の館は慌ててみましたが、新進作家の素晴らしい作品がありましたよ！



日本語支援ボランティア養成講座

開催日：7月10日(木)、22日(火)、24日(木) 午後1時半～3時(全3回)

開催場所：コミュニティプラザ会議室4

参加者：1回目15名、2回目12名、3回目11名

学習者や支援者にとって「楽しい活動」とはどんな活動でしょうか？ また、どんな時楽しかったでしょうか？ みんなで考えながら答えを導き出していきました。学習者も支援者もお互い語り合うナラティブな活動は「聞く、読む」＝インプット、「話す、書く」アウトプット(日本語の4技能)を知らない間に行える勉強臭くない方法だということを学びました。語り合うことで対話が生まれ、「楽しい」気持ちが湧いてきます。生活者としての外国人が多い「地域日本語教室」は、語り合うことで居場所としての機能も含んでいるということがよく分かりました。



矢谷久美子さん 日本語教育支援グループことのは理事長
楽しい活動の創り方(1) トピック中心の活動を考える
—対話型活動から楽しい交流活動をつくろう—

坂本由美子さん 大阪YWCA日本語教師会会員、大阪府立高校非常勤講師
楽しい活動の創り方(2) 実際のテキストを使って
—具体的な教材から話題作りにつなげよう—

安田乙世さん

日本語教育支援グループことのは副理事長、NPO法人おおさかこども多文化センター前理事
楽しい活動の創り方(3) 実際のテキストを使って
—『日本語の4技能』を考えた活動をつくろう—



講師：キム・ジェヒョンさん (CET アカデミックプログラム留学生・日本語教室さくらクラブ学習者)

開催日：6月10日(火) 午後1時半～3時

開催場所：コミュニティプラザ会議室1・2 参加者：31名

ニューヨークって
そうなんや！



- 英蘭戦争でオランダからイギリスに明け渡された。ヨーク公爵(イギリス)に敬意を表して、ニューヨークと改名された。
- アメリカ人のニューヨークのイメージは、「ピザとベーグルとネズミ」。
- ニューヨーク市は5つの区(boroughs)⇒ブロンクス、マンハッタン、クイーンズ、ブルックリン、スタテンアイランドがあり、ニューヨーク州の人口の1/3を占めている。
- 約800言語が話されている。家庭で最も多く話されているのは、スペイン語(1位)、中国語(2位)。
- ニューヨーカーの性格は「親切だが、優しくはない」。相手の時間を無駄にしない言動が特徴。



Manhattan: マンハッタン

- エンパイアステートビル、タイムズスクエア、メトロポリタン美術館など定番の観光地を誇り、演劇や音楽やダンスの舞台がたくさんある。
- 人口160万人だが、昼の人口はほぼ400万人。多くの人がマンハッタンまで通勤している。ニューヨークの心臓で、総生産の7割をウォール街(金融業など)が占めている。

Queens: クイーンズ

- 英語以外の看板が多く見られ、人口の47~48%が外国生まれ。多様性の街で、あらゆる民族料理の本物の味が楽しめる。
- 朝食はダイナー。目玉焼きやハンバーガーなどがあり、コーヒーのおかわりは無料。チップは20%。

Brooklyn: ブルックリン

- 伝統と現代が入り混じった、ヒップスターの街。
- 初期野球(19世紀後半)の中心地。ドジャースは、元々ブルックリンドジャースだった。
- ユダヤ人コミュニティがある(イディッシュ語)。

Bronx: ブロンクス

- ヤンキースの球場がある。
- 落書き文化が盛ん。落書き=芸術として捉えられている。
- ヒップホップの発祥地で、ヒスパニック系やアフリカ系の人が多い。

Staten Island: スタテンアイランド

- 「公園の区」として知られており、歴史的建造物も見られる。
- マンハッタンへ往復しているフェリーは、通勤するためにも使われている。フェリーからは自由の女神、マンハッタンの景色を楽しむことができる。

国際理解講座 参加者の感想

- ニューヨーカーの人は「いらち」の大阪人のようですね。意外とおもしろい話を聞けてよかった。
- ゲームやダイナーのオッサンの真似などが、とてもおもしろかったです。
- NYCの人の価値観、率直・配慮。見て見ぬふりする日本の一部の文化と異なり、学ぶことが多いです。
- ニューヨークに五つの区があるのを初めて知った。違いを知る事ができて、とても勉強になりました。現地に一度行ってみたいくなりました。

日本語支援ボランティア養成講座 参加者の感想

- 普段、学習者とフリートークや雑談のようにおしゃべりすることも多いですが、その中でも最後には「振り返り」の時間を設けてフィードバックを1つか2つすることの大切さなど参考になりました。
- 楽しい活動とは「・・・したい」という気持ちが満たされた時に感じることができる。自分の活動を振り返ってみて、楽しい活動ができてきたらうかと、考えることができた。
- マンガやイラストやカードを使った工夫が面白かった。遊びながらの勉強、面白かった。
- 今、正に悩んでいる事を教えていただけて良かったです。マンネリ化、勉強の仕方がこれでも良いのか? など。学習者だけでなく、日本人同士でも会話する時には相手の興味ある事を入れると会話が弾んで楽しくできます。サロン中でも笑い声が事務所まで届いてしまうこともありすみません。でも、楽しい時間を学習者さんと過ごしています。

〈結果報告〉●4月22日(火)午後1時半～3時(於:コミュニティプラザ3階コンベンションホール)に定期総会を開催しました。合計56名出席(個人会員37名、家族会員5名、団体会員14名)(重複5名含)

●総会前4月15日(火)午後1時半から理事会を開催しました。(於:コミュニティプラザ会議室3・4)24名出席。

会長就任の挨拶 中井 哲男



この度、摂津市国際交流協会の会長に就任いたしました中井と申します。よろしくお願いいたします。また、日頃から協会の活動にご協力いただき誠にありがとうございます。ご存じのように摂津市国際交流協会の当初の設立目的は、市民、行政、各種団体などとの連携を図りながら、グローバルな視野を持って国際交流事業を推進することになっており、オーストラリアのバンダバーグや中国の蚌埠市との交流を中心に実施してきました。私は日本語教室をボランティアで運営して約10年になります。この10年で摂津市に在住する外国人は2000人を超えるまでに増加し、今後も様々な国からの外国人の増加が予想されます。このため、摂津市国際交流協会でも外国人が住みやすいまちづくりについて考えていきたい、引き続きご支援、ご協力よろしくお願いいたします。

会長退任の挨拶 阪井 靖史



2期4年間に亘る摂津市国際交流協会の会長職を退任することになりました。皆様方のお力添え、ご支援のお蔭で、無事会長職を務め上げることが出来ました。幸いにも会長として創立30周年という記念すべき日を迎えることが出来たのも大きな喜びでございます。先輩から引き継いだ日本語教室、国際理解講座をはじめとして今ある活動をより一層充実させること、また開催を継続させることが重要であると考え、日々活動して参りました。その結果、日本語教室では外国人の学習者が日本語力の向上を目指し、熱心に参加してくれました。我々ボランティアも指導する楽しみを感じました。また彼らの母国の状況や文化、歴史にも興味を持つようになりました。国際理解講座は在住外国の方や海外経験の豊富な方にお話をいただく活動ですが、会員や市民の方に参加いただき、マスコミ報道では得られない生の情報を提供して参りましたが、多くの方が海外の状況に興味をお持ちだと理解できました。後任の中井氏は経験も豊富で、協会の長としてご活躍いただけると期待しております。引き続き皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



遊牧民の温かいおもてなしとスープ E.Mさん



モンゴルには遊牧民として暮らしている人達がいる。そんな彼らに会ってみたくて、彼らの文化を垣間見たくて行ったモンゴルでの出来事。遊牧民として暮らす若い青年に地平線が見える草原を馬で案内してもらった。英語は通じなくても素敵な笑顔とモンゴル語、風と緑が心地よかった。お昼時になって、遠くを指さしながら「ご飯をたべないか。」と言う。(言っている気がした。)馬についていった先には小さなゲル、中でお母さんが大きな鍋で昼食を作っていた。ここからの

会話は想像。「一緒に昼ご飯を食べようと思って、日本人を連れてきたんだけど。」「じゃあ、ちょうどスープができたから食べようか。」そこでお母さんがとった行動に目が釘付けに。お碗を手にとり、内側を舌でなめまわし、スープを入れて「はい、どうぞ。」と満面の笑み。舌でなめまわしたお碗に入ったスープ。さて、私は？・・・

はい、おいしくいただきました！草原にポツンと立つ小さなゲルに水路はなく、大切な水を食器洗いに使えるはずもない。お母さんは、汚れたお茶碗を舐める事できれいに洗ってくれ、私をもてなしてくれたのです。ごはん時にはお父さんと弟さんらしき人も帰ってきて、お互い通じない言葉で談笑(?)しながら美味しくいただいたスープ。どんな味だったか、今はもう覚えていません。今もモンゴルの草原のどこかに、青年と家族はいるのでしょうか。



〈協会からのお知らせ〉協会では各種イベントや語学講座などでの会員の事故に備え、団体傷害保険に入っています。参加途上を含め、事故に遭われた場合は協会までご連絡ください。

摂津市国際交流協会

〒566-0021 摂津市南千里丘 5-35

摂津市立コミュニティプラザ 2F

TEL: 06-6319-6251 FAX: 06-6318-6004

Email: office@settsu-saie.org

URL: <https://settsu-saie.org>

開室時刻: 平日 9:30~12:00、13:00~16:30

(休館: 第4水曜日)

会員募集

●年会費: 個人: 3,000 円 / 家族: 5,000 円

青少年: 1,000 円 / 法人・団体: 10,000 円 (1口)

●当協会の事業に無料または割引での参加特典がございます。

●「かわら版」のお届けと催事参加申込みなども優先的に受け付けます。

協会 HP

